

6. 事業の整備効果

(1) 周辺地域の交通混雑緩和

本事業化区間を整備することにより、東埼玉道路周辺の並行道路における交通混雑の緩和が期待できます。

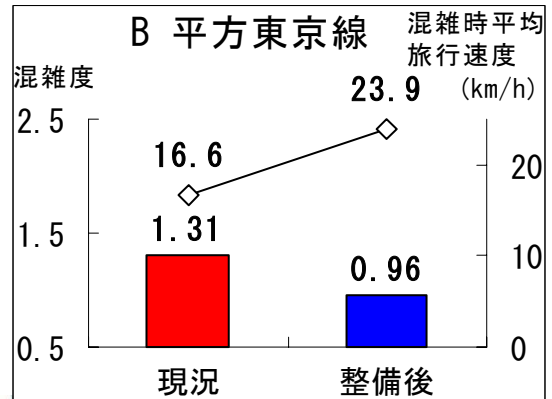
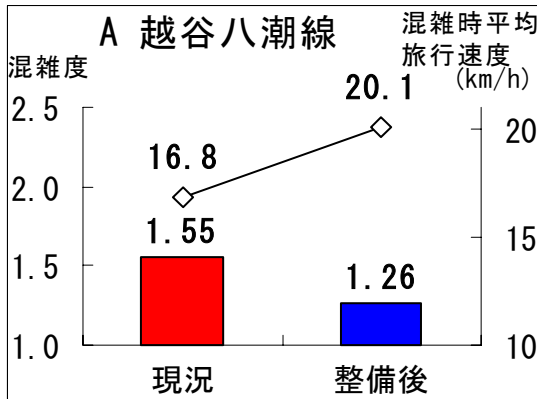


図 周辺地域の交通混雑緩和

(2) 地域開発支援

本路線の沿線では「越谷レイクタウン特定土地区画整理事業」が平成19年春のまちびらきを目指して事業中であり、本路線の整備によって当事業に関連したさまざまな効果が期待できます。

■越谷レイクタウンの住宅宅地開発を促進

本路線は越谷レイクタウンを通過し、主要なアクセス道路となることから、宅地開発の促進が期待できます。

■新駅（予定）の整備に伴うマルチモーダル^{*}施策の推進

レイクタウン内にJR武蔵野線の新駅が平成19年度に開業する予定とされており、東西方向の交流に資する交通結節点が形成されることで、近接する東埼玉道路を活用したマルチモーダル施策の推進が期待されます。

^{*}マルチモーダル：良好な交通環境を作るために、複数の交通機関と連携し、都市への車の集中を緩和する総合的な交通施策です。



図 越谷レイクタウンと交通結節点のイメージ

■河川との一体整備による地域防災性の向上

側道部地下に導水路を設け、レイクタウンと一体となって調節池を整備することにより、元荒川の氾濫区域の治水対策が期待できます。



埼玉新聞（平成3年9月20日）



資料提供：国土交通省
江戸川河川事務所
浸水実績



越谷市内



元荒川・中川合流点付近

図 平成3年9月19日の洪水

(3) 大規模イベントの支援

本路線の沿線には、平成16年度に開催が予定されている埼玉・国体の会場となる越谷市立総合体育館、越谷市民球場、吉川市立総合体育館が立地しており、本路線は会場へのアクセス道路として機能することが期待できます。



図 国体会場へのアクセスイメージ